

1999年フサン国際映画祭ウンハ賞(最優秀ドキュメンタリー賞)受賞
1999年山形国際ドキュメンタリー映画祭特別招待



숨결

息づかい

My Own Breathing

ビョン・ヨンジュ監督作品

プロデューサー◆シン・ヘウン
撮影◆ビョン・ヨンジュ, ハン・ジョンフ
編集◆パク・コクチ
製作◆Docu-Factory VISTA
1999年◆韓国映画◆35mm・16mm◆カラー◆77分

凍てついた心を、自らの意志でとがしたハルモニたち
その語り尽くせない思い、生の輝き
確かな息づかいだけが
ひとの心を開く



配給◆パンドラ ☎03-3555-3987



息づかい

My Own Breathing



第二次世界大戦当時、日本軍により慰安婦にさせられたハルモニ（朝鮮語でおばあさんという意味）たちの現在をドキュメントした映画、『ナナムの家』『ナナムの家Ⅱ』で注目を集めたビョン・ヨンジュ監督。彼女がこの7年間の集大成とも言える作品『息づかい』を完成させた。

今回、カメラは〈ナナムの家〉を出てプサン、テグと韓国各地で暮らすハルモニたちを訪ねる。映画と対話を重ねつつ、自らの生を自らの意志で輝かせたハルモニたち。あるがままのハルモニたちにそって、カメラを回したビョン・ヨンジュ。

その姿は、前2作にも増して、見る者に言い尽くせないほどの感動と希望を与えてくれるだろう。

ふたつの反転 是枝裕和 ●映画監督

映画を観ていくにつれて、この『息づかい』というフィルムの本質が従軍慰安婦の賠償問題にあるのではなく、元慰安婦の女性たちがその活動を通して獲得していく内的な変化にあるのだということに私たちは気づかされる。彼女たちは長い時間を丸め、ひとり抱え込んでいたために化石のように硬直してしまっただけで、「悲しみ」という名詞を少しづつ少しづつ「悲しむ」という動詞に変えていく。そしてその変化が、悲しむという行為や感情を他者と共有する術を彼女たちに可能にさせていくのだ。その過程を経て、悲しみはたくましく、強く生きていく力に反転するのである。

監督のビョン・ヨンジュは、その過程に根気強く寄り添い、ひたすら彼女たちの悲しむ行為と悲しみの声に耳を傾けようとする。そこにあるのは安易な同情や共感ではないし、怒りの共有や社会正義でももちろんない。悲しみを共有することはできない。それは彼女たちのものであつて私たちのものではない。ただ真摯に彼女たちの声を聴こう。そうすることしか今の私にはできないのだ、というようなある種のあきらめにも似た作り手としての冷静な覚悟がそこにはあるように感じた。そしてそのことが逆に彼女を力強い聴き手にしているように思った。力強い聴き手を得たことでモノローグがダイアログの強度を持つ。聴き手という他者を得ることで悲しみははじめてアイデンティティをめぐる普遍的な問いへと発展していくのだ。ここで映画というものの存在が井戸の底の悲しみを氷解させ、悲しむ力を汲み上げていくポンプの役割りを果たしていることは間違いないだろう。ビョン・ヨンジュは自らのあり方を通して聴くということが決して受動的なものではなく、ひとつの能動的な行為として成立し得るのだということに気づかせてくれる。それはドキュメンタリーという映画のあり方、ドキュメンタリー作家という人間の存在意義に対しての気づきでもあるだろう。ここにもう一つの反転がある。

「悲しみ」を生きる力に変えていく女性たち。 「聴く」という行為をポジティブにとらえていくひとりの映画監督。一本の映画を通して撮る者と撮られる者が互いに獲得するこのふたつの反転が何より感動的であり、登場人物たちのしわだらけの笑顔に負けないくらい、この映画を豊かなものにしていてると思つた。

『幻の光』第52回ヴェネチア国際映画祭金のオセッラ賞
『ワンダフルライフ』第20回ナント三大陸映画祭グランプリ

こねえだ ひろかず

1999年プサン国際映画祭ノブ賞（最優秀ドキュメンタリー賞）受賞
1999年山形国際ドキュメンタリー映画祭特別招待

監督 ◆ ビョン・ヨンジュ
プロデューサー ◆ シン・ヘウン
撮影 ◆ ビョン・ヨンジュ、ハン・ジョング
編集 ◆ バク・コクチ
同時録音・助監督 ◆ キム・ウニョン
ラインプロデューサー ◆ シン・ミョンファ
効果・整音 ◆ 松竹サウンドスタジオ
オペチカル・フローアップ ◆ ソニー PCL
日本コーデネーター ◆ 根本理恵
製作協力 ◆ パンドラ

1999年 / 韓国映画 / 35mm / 16mm / カラー / 77分

配給 ◆ パンドラ 03-3555-3987 <http://www02.so-net.ne.jp/pandora/>



4月1日(土)～4月28日(金)ロードショー!

特別鑑賞券 ¥1400 好評発売中! 劇場窓口、都内各プレイガイド、チケットぴあ他にて発売 当日 一般・学生 ¥1700 / 小中高生・シニア(60才以上) ¥1000

『ナナムの家』『ナナムの家Ⅱ』も同時アンコール上映!
●当日券のみ ¥1300 ●『息づかい』『ナナムの家』『ナナムの家Ⅱ』をご覧の場合はおトクな当日セット券あり(2回券 ¥2700 / 3回券 ¥3700)
●『ナナムの家Ⅱ』はビデオ発売致しません。貴重な機会ですので、是非お見逃しなく!

BOX 東中野 山手通り 東京三益銀行 JR東中野駅 新宿

連日	12:20	2:05	4:00	5:45	7:15
	息づかい	ナナムの家	息づかい	ナナムの家Ⅱ	息づかい

*各回入替制

JR東中野駅西口北側ホーム正面ポレポレ坐ビル TEL.03-5389-6780